

第1回 電カデータ活用の在り方検討会

# 認定協会の設立準備の進め方について （ご提案）

2021年6月30日

グリッドデータバンク・ラボ有限責任事業組合

The logo for Grid Data Bank Lab. is prominently displayed on the right side of the page. The text 'Grid Data Bank Lab.' is written in a large, bold, black sans-serif font. The letter 'G' in 'Grid' is yellow, 'D' in 'Data' is blue, 'B' in 'Bank' is purple, and 'L' in 'Lab.' is yellow. The background features a complex graphic design with various colored circles (yellow, blue, purple, orange, green) and overlapping lines. Faint text elements like 'Value', 'Statistics', 'Analysis', 'Application', 'Business Activity', 'Public Service', and 'Service' are scattered throughout the background, along with some numerical data points.

Grid  
Data  
Bank  
Lab.

# 具体的な検討の進め方（案）

本年3月～5月に開催された「総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会 持続可能な電力システム構築小委員会（第9回～第11回）」において、認定協会の費用負担の在り方については「受益者負担（情報提供先の負担）を原則」とする旨が整理され、この整理のもと、先般、勉強会が2回実施されたところ。

電力データ活用の在り方検討会（本検討会）では、認定協会の設立検討に必要な前提条件の整理を進めていただくが、実際に協会を設立する主体は、費用を負担するデータ利用者とデータ提供者である一般送配電事業者となる。従い、認定協会の設立自体は民間で検討を進める必要があると思料。

そこで、本検討会における整理の進展に応じ、具体的な利用意向を有する有志を募り、データ提供者にも参加いただく形で「認定協会設立準備WG（仮称）」を組成し、検討を進めることをご提案させていただきたい。

## <役割分担>

国	データ提供者	データ利用者
法整備・制度設計 認定要件の整理	データ提供/TSOシステム整備	データ利用/協会システム整備 費用負担（拠出金・会費・利用料）
認定	認定協会設立、認定の申請	

# 認定協会設立に向けた諸課題の整理/検討体制（案）

検討体制 【事務局】	電力データ活用の在り方検討会 【資源エネルギー庁】	認定協会設立準備WG（仮称） 【案・GDBL】	電力データ活用検討 委員会【GDBL】
役 割	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ利用者主体による認定協会の設立検討を進めていくにあたり、必要となる<b>前提条件の整理</b></li> <li>資料/議事概要は公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ利用者（有志）による<b>認定協会の設立検討</b></li> <li>資料/議事は非公開、ただし検討結果（概要）は電力データ活用検討委員会で審議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>外部有識者を招聘し方向性の整理</b></li> <li>資料/議事概要は公開</li> </ul>
時 期	2021.6- 8	2021.8-2022.3（想定）	2021.9-（想定）
おもな 検討課題	<p><b>1.認定協会の位置づけ/制度概要</b></p> <p>① 電事法の整理、事業スコープ、収支構造</p> <p>② 認定要件</p> <p><b>2.TSO提供データの仕様・条件</b></p> <p>① 電力データの種類（個人/統計）</p> <p>② 電力データの提供方法</p> <p>③ システムによるデータ提供スケジュール（全国・エリア毎）</p> <p>④ データ連携・照合方法</p> <p>⑤ 協会へのデータ提供価格・条件</p> <p>⑥ システム整備までの<b>暫定運用</b></p> <p><b>3.データ利用者の意向確認</b></p> <p>① 上記を踏まえたデータ利用意向/費用負担意向の確認</p> <p>② 意向確認結果を踏まえた追加的に検討すべき前提条件</p>	<p><b>1.協会運営の検討</b></p> <p>① 認定協会の運営体制（組織・体制・業務委託・役割分担）</p> <p>② 本人同意の取得（直接、間接）に関する具体的な運用</p> <p>③ 引越し対応/複数地点の紐づけ管理の是非or運用</p> <p>④ セキュリティマネジメント/第三者委員会によるチェック体制の整備</p> <p>⑤ 需要家への情報提供の在り方</p> <p>⑥ 認知度向上・利活用促進</p> <p>⑦ <b>暫定運用</b></p> <p><b>2.収支/出資検討</b></p> <p>① 認定協会のシステム/サービス仕様の検討</p> <p>② コスト試算（システム/人件費/諸経費/委託費/TSOへの利用料）</p> <p>③ 利用者の費用負担意向の確認⇒基金/会費・会員への利用料の検討</p> <p>④ 収支想定⇒出資検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記の検討がある程度進展した時点で、その検討概要/方向性について審議</li> <li>認定協会設立後は当該委員会が認定協会の第三者委員会に移行する想定</li> </ul>